

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	さいたま文学館
指定管理者	公益財団法人けやき文化財団
評価対象年度	平成29年度
施設所管課	文化資源課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	適切な事故防止対策等がされており、安全性は確保されていた。
	法令等の遵守	A	法令等の遵守について、適切に処理されていた。
	平等利用の確保	A	適切に処理しており、平等利用は確保されていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	施設の稼働率は目標を上回ったが、文学ホール及び研修室3の利用促進は引き続き課題である。 (目標)60%以上 → (実績)66.7%
	利用状況	A	利用者数が目標を上回った。 (目標)69,000人 → (実績)74,902人
	適切な管理の 履行	A	協定書や事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	文学資料の適切な 管理・展示	A	燻蒸消毒を行い、中性紙の箱で保存するなど文学資料の劣化防止に努めている。
	財産の適切な 管理	A	適切な財産管理がなされていた。
利用者サービス の向上	サービス内容の向上	A	図書室ポイントカードを導入し、約700枚を配布するなど利用者サービス向上に努めた。
	利用者の満足度	A	施設に対する満足度が目標値ぎりぎりではあるが、職員対応、施設双方とも目標を上回った。 (目標)職員対応85%以上 → (実績)93.0%(H28 93.6%) (目標)施設自体85%以上 → (実績)85.1%(H28 92.7%)
総合評価		A	適切な管理・運営がなされており、概ね良好である。

特記事項	特に評価すべき点	適切な管理・運営がなされており、管理目標についても目標を達成している。特に利用者数については、目標を大きく上回っている。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	利用者満足度は、職員対応、施設自体のいずれも前年度を下回っている。特に施設自体については、目標値を僅かに上回っている程度であることから、利用者サービス向上に務めること。